

広報

心の通う福祉のまちづくり



# さつま町 ふくし

No.26

平成25年7月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会  
さつま町宮之城屋地2117-1 (宮之城ひまわり館内)

TEL 0996-52-1123  
FAX 0996-52-1148



白男川小学校5・6年生、親子での  
高齢者・障害者疑似体験



若鶴タイム(鶴田中学校1年生  
総合的学習の時間)の高齢者・  
障害者疑似体験

## 目次

表紙	(写真) 白男川小学校5・6年生親子レクレーションでの高齢者・障害者疑似体験、若鶴タイム(鶴田中学校1年生の総合的学習)の高齢者・障害者疑似体験
2P	白男川小学校5・6年生の親子レクレーション、若鶴タイム(鶴田中学校1年生の総合的学習の時間)、日赤社資募集の報告、男性料理教室開講、安全運転管理モデル事業所指定
3P	平成24年度決算報告
4P	いぬまき荘紹介
5P	社協の事業紹介④児童・生徒のふれあいボランティア活動事業、ボランティア活動保険広告
6P	シルバー110番
7P	香典返し、篤志寄付、さつま町社会福祉協議会職員研修会
8P	福祉施設の紹介(ディサービス かたらい)、編集後記

【白男川小学校の親子レクレーションでの福祉学習】

6月15日、白男川小学校の5・6年生が、親子レクレーションの一環として、児童13名、保護者14名で、高齢者疑似体験・アイマスク体験・車椅子体験をされました。1時間程の時間でしたが、和やかな中にも、真剣な表情で体験されていました。

終了後、児童の皆さんから、「疑似体験をした時、膝と肘がのびなかったので、動きにくかったです。」「困っている人をみかけたら手伝いたい。」という声、保護者の皆さんからは、「高齢者は、自分が思っていた以上に大変だと実感できました。」「車椅子の大変さや、目の自由な人の気持ちが分かりました。」などの、多くの感想をいただきました。

【鶴田中学校の若鶴タイムでの福祉学習】

鶴田中学校の1年生、43名の生徒さんが、総合的学習の時間の一環として、第1回目、5月29日の5・6時間目、認知症サポーター養成講座を受講されました。認知症の方の症状や気持ちを理解し、サポートする、認知症サポーターが、この日新たに43名誕生しました。

第2回目の6月18日には、同じく5・6時間目、高齢者疑似体験・

アイマスク体験・車椅子体験をされ、「疑似体験をとおして、高齢者がよく腰が痛いと言っている理由に気づきました。」「これから困っている人をみかけたら自分から手伝いたい。」「僕もいずれ高齢者になるので、こんな大変だと思うと不安になった。」等の、実感がこもった感想をいただきました。

【日赤社資募集の報告】



災害救援物資

5月は赤十字運動月間でしたが、町民の皆様より、三百七十九万一千二百円のご協力をいただきました。

納入くださいました社資は、日本赤十字社へ送金し、災害時の救援活

動・救援物資・献血事業等に役立てられます。ありがとうございました。

【男性料理教室開講】



平成二十五年年度男性料理教室の開講式が、5月14日、宮之城保健センター（宮之城教室、二十一名の受講者）と、5月24日、鶴田保健センター（鶴田教室、十九名の受講者）で行われました。

今年度も、食生活改善グループの方々のご協力をいただき、男性の家事力と、栄養バランスの向上を目的

に開催されます。受講されている皆さんは、和気あいあいとした雰囲気です。一度、覗いて見られませんか。

【さつま町社協、安全運転管理モデル事業所に指定】



さつま町社会福祉協議会は、平成二十五年年度、安全運転管理モデル事業所として指定を受けました。この指定は、さつま地区安全運転管理協議会（警察署内）の交通安全運動の趣旨に賛同し、職員の模範的な安全運転と、安全管理の徹底について積極的活動を行なっていくものです。これまでよりなお一層、交通安全第一で、事業を展開してまいります。

## 平成24年度決算報告

(単位：円)

勘定科目（大区分）		一般会計	収益事業 特別会計	旅客運送事業 特別会計	合 計
収 入	会費収入	4,854,000	0	0	4,854,000
	寄付金収入	4,224,720	0	0	4,224,720
	経常経費補助金収入	34,899,944	0	0	34,899,944
	助成金収入	733,000	0	0	733,000
	受託金収入	51,793,000	0	0	51,793,000
	事業収入	43,694,168	3,529,810	2,536,400	49,760,378
	貸付事業等収入	1,615,000	0	0	1,615,000
	共同募金配分金収入	3,587,700	0	0	3,587,700
	介護事業収入	117,134,183	0	0	117,134,183
	雑収入	1,016,696	0	0	1,016,696
	受取利息配当金収入	25,414	707	749	26,870
	会計単位間繰入金収入	1,620,000	0	0	1,620,000
	経理区分間繰入金収入	1,511,000	0	0	1,511,000
	経常活動収入計	266,708,825	3,530,517	2,537,149	272,776,491
	施設整備等収入計	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	630,000	0	0	630,000
	その他の収入	6,844,390	0	0	6,844,390
	財務活動等収入計	7,474,390	0	0	7,474,390
	収 入 合 計	274,183,215	3,530,517	2,537,149	280,250,881
支 出	人件費支出	181,375,888	0	300,000	181,675,888
	事務費支出	16,418,554	73,100	129,929	16,621,583
	事業費支出	52,358,286	397,566	1,031,474	53,787,326
	貸付事業等支出	1,700,000	0	0	1,700,000
	助成金支出	6,191,510	0	0	6,191,510
	会計単位間繰入金支出	0	340,000	1,280,000	1,620,000
	経理区分間繰入金支出	1,511,000	0	0	1,511,000
	売上原価	0	2,418,974	0	2,418,974
	経常活動支出計	259,555,238	3,229,640	2,741,403	265,526,281
	固定資産取得支出及び繰入支出	2,500,000	0	0	2,500,000
	施設整備等支出計	2,500,000	0	0	2,500,000
	積立預金積立支出	1,101,385	0	0	1,101,385
	その他の支出	6,651,000	0	0	6,651,000
	財務活動等支出計	7,752,385	0	0	7,752,385
	予 備 費	0	0	0	0
支 出 合 計		269,807,623	3,229,640	2,741,403	275,778,666
当期資金収支差額合計		4,375,592	300,877	-204,254	4,472,215
前期末支払資金残高		37,699,584	5,174,257	4,446,009	47,319,850
当期末支払資金残高		42,075,176	5,475,134	4,241,755	51,792,065



老人福祉センター【いぬまき荘】

どなたでもご利用出来ます。



売店もあります。



かけ流しの温泉 いい湯です。



お茶も準備してあります。



シルバー園芸教室学習風景「スモモの接ぎ木」



健康教室：楽しくレクリエーション



健康教室：リズムに合わせてストレッチ

【料金表】

さつま町内の65歳以上の方	(1日休憩)	150円
	(入浴のみ)	100円
さつま町内の64歳以下の方	(1日休憩)	200円
	(入浴のみ)	200円
さつま町外の方	(1日休憩)	360円

- ・利用時間：午前9時～午後4時30分  
(ただし、入浴時間は午後4時まで)
- ・休館日：日曜日・祝祭日・年末年始
- ・弁当・飲み物は、持ち込み出来ます。

【お問い合わせ先】 老人福祉センター いぬまき荘 電話 55-9055

# 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業

## <制度の目的>

次世代を担う子ども達に、ボランティア活動を始める「きっかけ作り」と活動を継続させるための「定着」「やりがい」など、福祉の心を育みながら心豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。ボランティア活動を始めの人に、ボランティアカードを配布し、活動に応じてスタンプを押すというものです。ボランティア活動をした場合、児童・生徒の皆さんは、先生に報告をして、スタンプを押していただきます。スタンプが溜まったら、認定証がもらえます。

## <対象となる学校>

さつま町内の小・中学校、高等学校

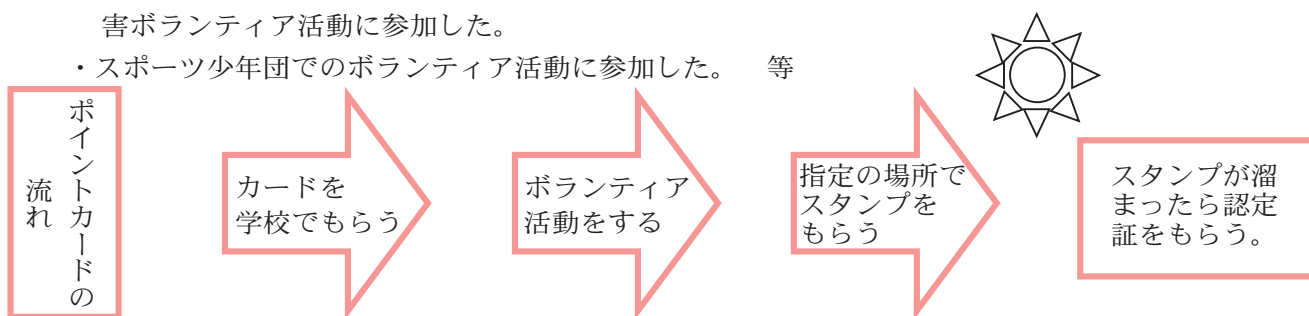
## <ポイントの対象となる活動>

学校内での清掃活動や、学校が主催する行事等での活動は含まれません。学校外における地域社会や、個人・団体の社会貢献につながるボランティア活動が対象となります。

例)・施設等訪問などで、障害者や高齢者とコミュニケーションをとる。

- ・地域のイベントや地域内での清掃作業をする。
- ・近所や移動中で、困っている方を助けた。
- ・収集活動・募金活動・自然環境活動・緑化活動・文化継承活動・郷土芸能伝承活動・災害ボランティア活動に参加した。
- ・スポーツ少年団でのボランティア活動に参加した。等

【社協の事業紹介④】  
【児童・生徒のふれあいボランティア活動事業】



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

## ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



### 特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

### ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

### 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

### 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料	基本タイプ	Aプラン	300円	Bプラン	450円
	天災タイプ	Aプラン	460円	Bプラン	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社



# 鹿児島シルバー 110番のご案内



高齢者やその家族の方々

の心配ごと、悩みごとの解決をお手伝いします。  
お気軽にご相談ください。(相談は無料です)

電話での相談は

面接での相談は

**099-250-0110**

フリーダイヤル **0120-165270**

時間外は留守番電話で受け付けています。お気軽にどうぞ  
(ただし、土・日曜・祝日と年末年始の休日は休みます)

鹿児島市鴨池新町1-7  
鹿児島県社会福祉センター5階

鹿児島県社会福祉協議会  
鹿児島シルバー110番 へどうぞ

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
生活相談	高齢者の生活・福祉・生きがいづくり全般	月曜日～金曜日	9:00～17:00	福祉相談員
健康相談	高齢者の健康管理、介護のしかた、介護用品のことなど	月・火・金曜日	13:00～16:00	保健師
医療相談	病気治療上の悩み、病気予防、リハビリ、病院のことなど	毎月 第1・3水曜日	14:00～16:00	医師
年金相談	国民年金・厚生年金・船員保険の受給資格、申請手続き、年金額など	毎月 第3水曜日	9:00～12:00	社会保険労務士
法律相談 (予約してください)	財産、権利、離婚、扶養、相続、借地、借家、金銭貸借のもめごとなど	月・木曜日	14:00～16:00	弁護士
税金相談	相続税、贈与税、所得税、住民税など税に関すること	毎月 第3木曜日	9:00～12:00	税理士
住宅相談	高齢者に安全で住みよい住宅の増改築、福祉機器の利用など	毎月 第2・4木曜日	9:00～12:00	建築士
福祉機器相談 専用電話099-253-1294	入浴用機器、ベッド、車椅子、住宅設備機器等福祉機器の展示紹介及び福祉機器の利用等についての相談	月曜日～金曜日 第2・4土曜日 及び翌日の日曜日	9:00～17:00	福祉相談員 福祉機器相談員

## ご案内



## 交通機関

### 市電

「郡元」又は「鴨池」で下車 徒歩約15分

### 市バス

(県庁前) 9番、10番、16番、16-2番、20番、27番  
28番、29番、30番、31番、32番、33番

(県庁西) 11番

(真砂保育園前) 12番

**鹿児島交通** (県庁前) 16番、23番、32番

**南国交通** (県庁前) 鴨池港行

皆様の  
善意に  
感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方よりいただきました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

(平成二十五年四月一日)  
平成二十五年六月三十日受付分

香典返し寄付 七十件  
七十一万五千元

寄付者名 (故人名) 《敬称略》  
(町内は大字、町外は住所地)

前田 清徳(故 前田ヤス子) 山崎  
上湯瀬 豊(故 上湯瀬ヒサミ) 湯田  
上谷川 孝子(故 西田 タミ) 柏原  
駒高 幸子(故 駒高 義久) 中津川  
大角 エミ(故 大角 義明) 鶴田  
生駒 光子(故 生駒 次男) 佐志  
内倉眞理子(故 内倉 孝幸) 求名  
甫立 英敏(故 甫立ヤス子) 虎居  
富園 昇(故 富園 光二) 柏原  
園田 和成(故 園田 愛子) 湯田  
外園 三郎(故 外園 モイ) 神奈川県  
平 義夫(故 平 ユミ) 永野  
伊地知幸子(故 宇都 フミ) 佐志  
久保 守(故 久保 サエ) 柏原  
生駒 修一(故 生駒タエ子) 湯田  
松元 エミ(故 松元 哲哉) 佐志

市野 節子(故 市野 清則) 泊野  
篠原ミサエ(故 篠原 進造) 船木  
福岡 香(故 福岡 綾子) 虎居  
佐野美智子(故 佐野 利光) 虎居  
城下 貞吉(故 城下 ふみ) 柏原  
小椎八重 寛(故 小椎八重道治) 平川  
小椎八重薩男(故 小椎八重道治) 平川  
東 次男(故 東 イク) 白男川  
山下 弘子(故 山下 孝行) 鶴田  
渡辺フチエ(故 渡辺 武俊) 永野  
梅木 三郎(故 梅木 幾枝) 鹿児島市  
原口 ミナ(故 原口 正雄) 中津川  
廣橋 クニ(故 廣橋 義幸) 求名  
松井 義彦(故 松井ツヤ子) 虎居  
大園ハヤ子(故 大園 叶) 虎居  
佐藤 初美(故 福迫 繁) 神奈川県  
指宿 宜法(故 指宿 誼) 湯田  
福山千枝子(故 福山 達郎) 湯田  
井上 良子(故 井上 忠雄) 久富木  
坂元 昭人(故 坂元 盛隆) 鹿児島市  
後藤 隆久(故 後藤 靖) 鹿児島市  
戸島 和弘(故 戸島 フデ) 求名  
川畑シヅ子(故 川畑二次郎) 求名  
遠矢 悦子(故 遠矢 隆成) 二渡  
石橋 光男(故 石橋カズエ) 船木  
向園 ノリ(故 向園 常雄) 求名  
高嶺 政仁(故 高嶺 正行) 神子  
永福 三雄(故 永福 昭江) 久富木  
外園 悦子(故 外園 薩男) 虎居  
角 充徳(故 角 幸雄) 大分県  
原田 隆二(故 原田 明尚) 鹿児島市

篤志寄付

五十件  
三万五千元

寄付者名 《敬称略》

・紫尾区大衆浴場 上之原 純夫  
・さつま町母子寡婦福祉会

匿名希望一件

匿名希望 三件

平木 武治(故 平木 トミ) 寧城屋  
坂元 一夫(故 坂元 一衛) 中津川  
日當瀬ムツ(故 日當瀬薩男) 虎居  
中園 康夫(故 中園 甚七) 久富木  
税所恵美子(故 税所 ミチ) 湯田  
田上 清巳(故 田上 シツ) 東京都  
富吉 昇(故 富吉 信子) 虎居  
高嶺芙久美(故 高嶺 和三) 神子  
中園 恵子(故 中園 孝雄) 柏原  
久留須博子(故 久留須 圓) 柏原  
本村 主計(故 本村オヨシ) 中津川  
岸良 明夫(故 岸良 和子) 湯田  
津曲 隆(故 津曲ヤツ子) 神子  
村田 耕治(故 村田敏三郎) 神子  
祁答院ヨシ(故 祁答院渡吉) 鶴田  
久木野治明(故 久木野キヲ) 茨城県  
谷山 一樹(故 谷山 幸恵) 求名  
松下 テイ(故 松下 秋光) 中津川  
宮路宇喜治(故 宮路 隆子) 時吉  
石野 菊志(故 石野 タチ) 虎居



6月7日、さつま町社会福祉協議会の全職員を対象とした、交通安全に関する研修会を行いました。講師は、さつま警察署から来ていただきました。

研修会では、交通事故の多発する場所の説明や、車の死角、だるう運転など、交通事故を誘発しやすいことなどについて、説明がありました。

何はともあれ、交通安全が第一です。





アットホームな雰囲気です。



【施設紹介】  
「デイサービスかたらい」

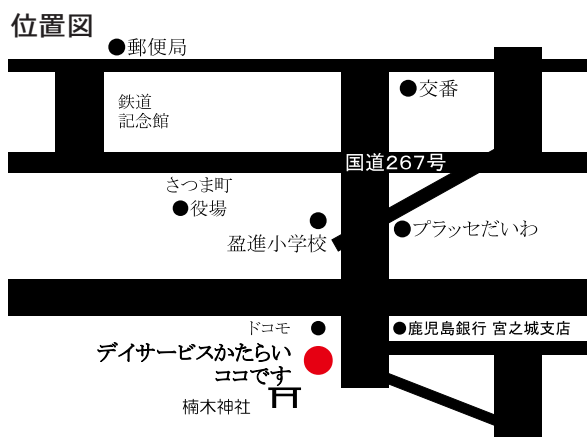


レストラン（電話：29-4004）  
（営業日は月、火、木、金で10:30～14:30）

（所在地）さつま町宮之城屋地1031-2  
（連絡先）0996-53-1853  
（営業日）月～土曜日  
（サービス提供時間）9：30～16：45  
（運営主体）特定非営利活動法人 さつまの風  
（施設種別）小規模通所介護事業所（定員：1日10名）  
（設置年月）平成24年10月  
（利用手続き）介護認定申請後、介護度に応じてのご利用になります。

この事業所の特色は、囲碁・将棋・読書・トランプ等の知的生産活動。好きなことをやり、心身の健康と意欲の回復を図ること。健康チェック（血圧測定・検温・健康相談等）が挙げられ、理事長の田野光彦さんも、「皆さん、それぞれ自分のペースで好きなことをしながら、自由な時間を過ごされています。」と話され、「デイサービスかたらいの空間は、とてもアットホームな雰囲気に包まれていました。」

また、レストランも併設され、一般の人たちも、気軽に昼食を楽しむことができます。



## 編集後記

梅雨も終わり、いよいよ夏本番といったところでしょうか。暑さがまだまだ厳しくなりますので、どうぞご自愛ください。

さて、広報誌第二十六号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に感謝申し上げます。

去る5月に開催されました、理事・評議員会におきまして、さつま町社会福祉協議会の平成二十四年度決算が承認されました。日々、公の福祉団体という意識を持って、住民サービスの推進に努力して参ります。今後、地域福祉の増進を推進して参りますが、町民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 広報委員

山下 光男  
領家 信行  
柳田 道輝  
松下 正人  
桑波田 敏光  
甫立 ミミ子